

収支報告

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
寄付金 (賛助会員費含む)	1,752万円	2,187万円	2,480万円
経常費用内訳	管理費 30%(544万) 事業費 70%(1,225万) 1,769万円	管理費 35%(747万) 事業費 65%(1,365万) 2,112万円	管理費 32%(738万) 事業費 68%(1,540万) 2,278万円
事業費内訳	マネークリップ 12%(143万) 実家便 88%(1,082万) 1,225万円	マネークリップ 3%(41万) 実家便 97%(1,324万) 1,365万円	マネークリップ 8%(118万) 実家便 92%(1,422万) 1,540万円

ご協賛・寄付のお願い

当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営しています。
当財団の活動へのご理解と、ご支援・ご協力をお願いいたします。

直接のご寄付



年会費は、
個人1口 ¥10,000
法人1口 ¥50,000です。

賛助会員として支える



様々な協力団体を通じ、ご寄付を募っています。
右記のQRコードより最新の情報をご確認ください。



協力団体を通じて寄付



財団概要/役員

名称：公益財団法人あいである	代表理事 木皿 昌司	評議員 飯塚 良成
所在地：〒105-0004 東京都港区新橋1丁目18番16号 日本生命新橋ビル3階	理事 笠作 真一郎	太田 一平
	中村 安志	安岡 利朗
	三浦 保	若杉 千秋
T E L：03-6435-0444	吉田 倅子	諮問委員 坂本 博之
E-mail：info@idealideal.org	吉田 義夫	柴山 英士
設立登記：2015年4月1日	渡辺 修三	高橋 朝子
公益認定：2017年4月1日	監事 相楽 行孝	村井 美紀
		山田 勝美



公益財団法人あいであるは、

「保護者がいない、保護者のもとで暮らすことが適当でないとされた子ども」の健全育成支援を行う財団法人です。事業として、社会的養護出身者の退所後の支援「実家便™」、社会的養護児童の自立支援「お金の管理に関するレクチャー」を行っています。



あいである
Annual Report 2025

ご挨拶 ～2024年度の支援事業 活動報告に寄せて～

日頃より当財団の支援事業にご理解とご賛同を賜り、厚く御礼申し上げます。実家便支援は、新規216名、継続548名、合計764名への支援を行いました。継続支援者の前回からの継続率は91%。事業開始からの支援人数は1806名、利用施設数は149ヶ所となり、全児童養護施設数(610ヶ所)のうち、24%の施設で活用されています。児童養護施設による施設退所者に向けたアフターケア事業のひとつとして利用されており、施設退所者と定期的に連絡を取る機会が持て、生活状況の確認、支援ニーズの把握、必要なサポートにつなげるなど、支援を届けられている中では事業目的を充分に果たせています。退所者からは「食料品がたくさん届いて嬉しい。お菓子が嬉しかった」「すぐに食べられるレトルト食品とお米は有難い」「生活が苦しかったから助かった」「防災用品は必要だと思うけど、自分ではどうすれば良いかわからなかった」「食料品はもちろん嬉しいけれど、職員からの手紙も嬉しかった」「防災意識を持つきっかけになった」などの言葉が職員を通して報告されています。

5年間の継続支援がある実家便によって、退所者と継続的にコンタクトすることができ、退所者がどうして良いかわからない場面で躊躇しないで施設に連絡がある、実家便の受取りを理由に施設に来てくれるなど、施設職員からは良い関係作りに手ごたえを感じるとの報告もあります。退所者からの反応を得られることで、施設職員にも自己肯定感が生まれているように報告書の文面を通して感じています。気持ちの波は誰にでもあることですが、実家便に入っている「あなたのことを気にしています」というメッセージが込められた職員からの手紙が、退所者を支える一助となっており、困ったときに自分から相談できるという、社会で自活することの基本が少しずつ身につけている例もあるように思います。施設と退所者をつなぐ架け橋として、継続して支援事業の意義、その効果を伝えて参ります。

お金の管理に関するレクチャー「マネークリップ」は、新規 8 か所、継続 2 か所の施設を訪問しレクチャーを行いました。退所後の生活で家計費管理が上手くできない、お金にまつわるトラブルに巻き込まれやすい、退所後の生活の後盾として施設入所時に貯蓄してあった子ども手当を深い考え無しに使ってしまうなど、施設で生活しているあいだに職員から子どもに伝えたいことに「お金は大切」という大きなテーマがあります。それに応えるためのひとつとしてお金の管理に関するレクチャーを活用していただいています。施設を退所した後のお金の管理や生活設計、コミュニケーションの仕方を体験できるゲームですが、まずは子どもの養育に当たる施設職員にゲームを体験してもらい、そこから得られたことをもとに職員が子どもと一緒にゲームを実施していただくことを推奨しています。

成人年齢引き下げによって懸念される事象や、新たな決済システムへの対応に関するレクチャーカードや資料を追加制作、配布、使用を始めました。カードがあることでイメージの確認がしやすく、説明や注意喚起の機会ができるのとの話を伺っています。レクチャー紹介動画の活用を含め、マネークリップレクチャーの紹介、支援を積極的に行って参ります。心理的サポート、お金の管理を含む社会的スキルを身に着けるための機会提供など、施設措置された子ども、子どもを養育している施設にとっても、当財団の支援はそのニーズに応えるものとご支持をいただいています。

当財団は多くの方々からのご寄付によって運営、支援事業を行っています。私どもに託された支援を、社会的養護を必要とする子どもへの支援として効果的に届けて参りますので、皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

代表理事 木皿 昌司



公益財団法人
あいである

実家便TM

施設を退所し自活を始めた子どもに6月と12月の年2回、施設を退所した年から5年(10回)を最長支援期間として、施設からの申請を受け食品や生活用品を発送しています。

施設退所者と施設をつなぐ「実家便™」は、施設退所者にとっては施設や施設職員とつながっていることの安心感を得ること、施設にとっては子どもの居場所確認とともに、私たちはあなたを気にしていますというメッセージを「モノ」と「言葉」の両方で送る支援です。

施設退所者が、本当の意味で自立するまでには、時間を要します。唯一の拠り所である児童養護施設とのつながりを持ち続けることは、子どもが再び負の連鎖を生まないための一助となるセーフティネットであり、自立への見守り支援です。

新規支援者宛 令和6年6月送付



継続支援者宛 令和6年6月送付



継続支援者宛 令和6年12月送付



お米の購入費用を助成いただきました！



公益財団法人

お金をまわそう基金

令和7年度も、実家便に同梱する「お米」の購入費用を「お金をまわそう基金」の寄付サイトに集めています！

右のQRコードからご寄付いただけます♪
(受付期間は令和8年3月末まで)



実績

令和4年度

新規支援人数 200
継続支援人数 491
対象施設 119

平成28年児童福祉法改正を受けた「新しい社会的養育ビジョン」で施設退所者へのアフターケアの強化が明示され児童養護施設に自立支援担当職員の配置が進む中で、「実家便」事業は、各児童養護施設による自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。また、「実家便」を利用した施設職員からの情報共有などによって新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

令和5年度

新規支援人数 222
継続支援人数 509
対象施設 122

フードバンクからの商品提供はコロナ禍の影響もあり貧困家庭等への支援強化により他へ分散する傾向が強いが、協賛企業からの支援によって内容物の充実を図ることができた。一方で、物価高騰の影響を受け一部商品で購入価格の値上げ、宅配料金の値上げがあり、今後もその影響は避けられないこととして注視している。昨年同様、自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。

令和6年度

新規支援人数 216
継続支援人数 548
対象施設 127

「実家便」を利用した施設職員からの情報共有などによって新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。コメの在庫不足、価格高騰の影響を強く受け、コメの購入価格は2年前の2倍となったが商品は確保することができた。一方で、協賛会社から毎回提供を受けていたパックご飯は在庫不足から提供を受けることができず代替品の提供を受け同梱した。また、他の同梱物でも物価高騰の影響があり、コメの価格高騰、在庫不足、輸送コストの高騰とともに今後もその影響は避けられないこととして注視している。

「お金の管理に関するレクチャー」

あいであるの
マネークリップ

社会的養護施設の下で暮らす子どもは、お金の管理や心構え、契約手続きなど社会人として必要なスキルを学ぶ機会がほとんどないまま18歳で施設などから退所し、社会で自活を始めます。未熟なまま施設を退所せざるを得なかった要社会的養護児が金銭的トラブルに陥らないよう、社会適応力をつける機会として、お金の管理や、生活設計について学ぶレクチャーを開催しています。

カード形式のゲームで、取りくみやすい内容です。



社会的養護の下で暮らす子どもがお金の管理について学ぶためのレクチャーを行っています。

実績

令和4年度

新規2団体

コロナ禍にあっても、施設を退所する子どもがお金の管理について学ぶ必要があることに変わりはないが、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況が続いていた。レクチャーの申請は受けており、感染が落ち着いた中で施設訪問によるレクチャーを実施することができた。レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらおうことで、レクチャーへの理解が深まるとの話も聞けており、さらなる活用の仕方をレクチャー現場でヒアリングしながら検討している。

令和5年度

新規4団体

レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらおうことを推奨し、レクチャーへの理解が深まるよう対応を取っている。マネークリップは、お金の管理を体験するツールであるとともに、座学ではないゲーム形式が子どもにも受け入れやすく、多様なレクチャーカードを用意したことで、社会生活の中で起こりうるトラブル例の説明や、社会生活に必要なコミュニケーションの仕方を学ぶツールにもなるとの評価を、レクチャー実施施設からの報告として受けている。

令和6年度

新規 8団体
継続 2団体

施設でのおこづかい管理ツール「おこづかいれんしゅうレクチャー」の実施について、レクチャーで使用するツールを見てもらい施設職員へのヒアリングを行ったところ、レクチャーを受ける対象者によってニーズは異なるので、マネークリップ、おこづかいれんしゅう両方のレクチャーツールを一緒に提供して欲しいとの要望を受けた。レクチャーの対象者を年齢で区切るのではなく、施設退所後の就労や住まい、施設退所に向けたアルバイト代からの貯金、施設措置の中でのおこづかいの管理など、対象者のニーズに合わせて、施設側でツールを使い分けたいとのことであり、施設訪問時におこづかいれんしゅうレクチャーツールの配布を行った。

Annual Report 2025 実家便

実家便を受け取った『子どもの声』



実家便最終回を受け取った子どもから、施設の先生、支援者の方へ向けて。

5年間ありがとうございました。
一人暮らしをしていたため、食費もかかる
為この実家便が届くととてもわくわく
し嬉しかったです。
施設の人は普段あまり連絡は
とりませんが、実家便と一緒に入
るメッセージを読んで元気づけ
られたし、連絡をとてみようかなと
思うこともありました。5年間の間
で色々なことがありました。実家便
のおかげで元気づけられたこ
ともありとても感謝しています。
ありがとうございました。

おは、施設の職員さん、支援者の方、その他
関係者の方へ。今度本当にありがとうございました。
皆様の温かい心遣いにとり助けられました。
あたり前のように受け取って、いざ実家便
今日で最後…。この支援は本当に前
でいえない事、皆様の支えと現いやりを
実感することができました。
本当にありがとうございました！！

今まで実家便を送っていただき、
ありがとうございました！！
一人暮らしをしている私にとって、とても
ありがたい支援でした。
これからも無理せず頑張る。
いこうと思います。

実家便の支援実績

支援年度	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
支援者数	235名	374名	456名	551名	585名	641名	691名	731名	764名
新規支援者数	143名	166名	172名	207名	180名	200名	200名	222名	216名
対象施設	62	85	96	113	122	115	119	122	127



活動の状況

全国の児童養護施設
610ヶ所のうち
**149ヶ所で支援の
実績**があります。

実績

支援実績のある
都道府県35(現状)



ご協力企業・団体 多くの企業・団体様のご協力をいただき活動しています。

株式会社 **アーテック** 株式会社アーテック



前田製菓株式会社



株式会社 白子



マルコメ株式会社



認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン



コストコホールセール ジャパン株式会社



株式会社たらみ



株式会社石崎商店



株式会社パン・アキモト



株式会社ヒサゴサービス



ブルーミング中西株式会社



日本ハムマーケティング株式会社



まいにち株式会社



鍵林製菓株式会社

不二ライフ株式会社 不二ライフ株式会社

その他

(※ 順不同・敬称略)